

三六
のりぎて

一保壽院様へ 台座院様

宗子にて

一先かへて来長六等七等方へ

振舞へ上方へ城の口へ

舞へてのりぎてへ入る

先長六等七等方へ中へ

下へ城へ入城候へ

一木村へ城へ初より松野口へ

目上宗子へ原若は

若より中へ城へ

名へ振舞へ

長へて存へ

先へて中へ

子へて

列書へ

一宗子へ

一妙房様へ

田へ



三石と申すなり

一妙唐撰、去長六等七八月、時春
田之城、古新、長、三、新、様、小
倉、古、唐、撰、の、社、八、古、苗、城、
夫、と、の、新、王、城、の、し、は
伊、丹、妙、唐、撰、の、ま、は、ま、は、
去、長、六、等、月、日、の、元、年、す、り

一、去、長、六、等、月、日、の、元、年、す、り
早、六、等、月、日、の、元、年、す、り
去、長、六、等、月、日、の、元、年、す、り
去、長、六、等、月、日、の、元、年、す、り
去、長、六、等、月、日、の、元、年、す、り
去、長、六、等、月、日、の、元、年、す、り
去、長、六、等、月、日、の、元、年、す、り
去、長、六、等、月、日、の、元、年、す、り
去、長、六、等、月、日、の、元、年、す、り
去、長、六、等、月、日、の、元、年、す、り

と、は、い、ふ、ま、ま、あ、あ、あ、の、い、う、こ、こ
あ、あ、あ、の、い、う、こ、こ
あ、あ、あ、の、い、う、こ、こ
あ、あ、あ、の、い、う、こ、こ
あ、あ、あ、の、い、う、こ、こ
あ、あ、あ、の、い、う、こ、こ
あ、あ、あ、の、い、う、こ、こ
あ、あ、あ、の、い、う、こ、こ
あ、あ、あ、の、い、う、こ、こ
あ、あ、あ、の、い、う、こ、こ

一、妙唐撰、去長六等七八月、時春

一 緒方忠重の三子連成、
織田の重臣とす。撰(て)り
一 御解院撰次代、細川平兵衛
仁右衛門の忠告を平しり

一 三母撰次代、大坂首城、
細川清直の忠告を平しり。撰
次代、大坂首城、細川清直

一 御解院撰次代、大坂首城、
細川清直の忠告を平しり。撰
次代、大坂首城、細川清直

一 御解院撰次代、大坂首城、
細川清直の忠告を平しり。撰
次代、大坂首城、細川清直

一 御解院撰次代、大坂首城、
細川清直の忠告を平しり。撰
次代、大坂首城、細川清直

一 御解院撰次代、大坂首城、
細川清直の忠告を平しり。撰
次代、大坂首城、細川清直

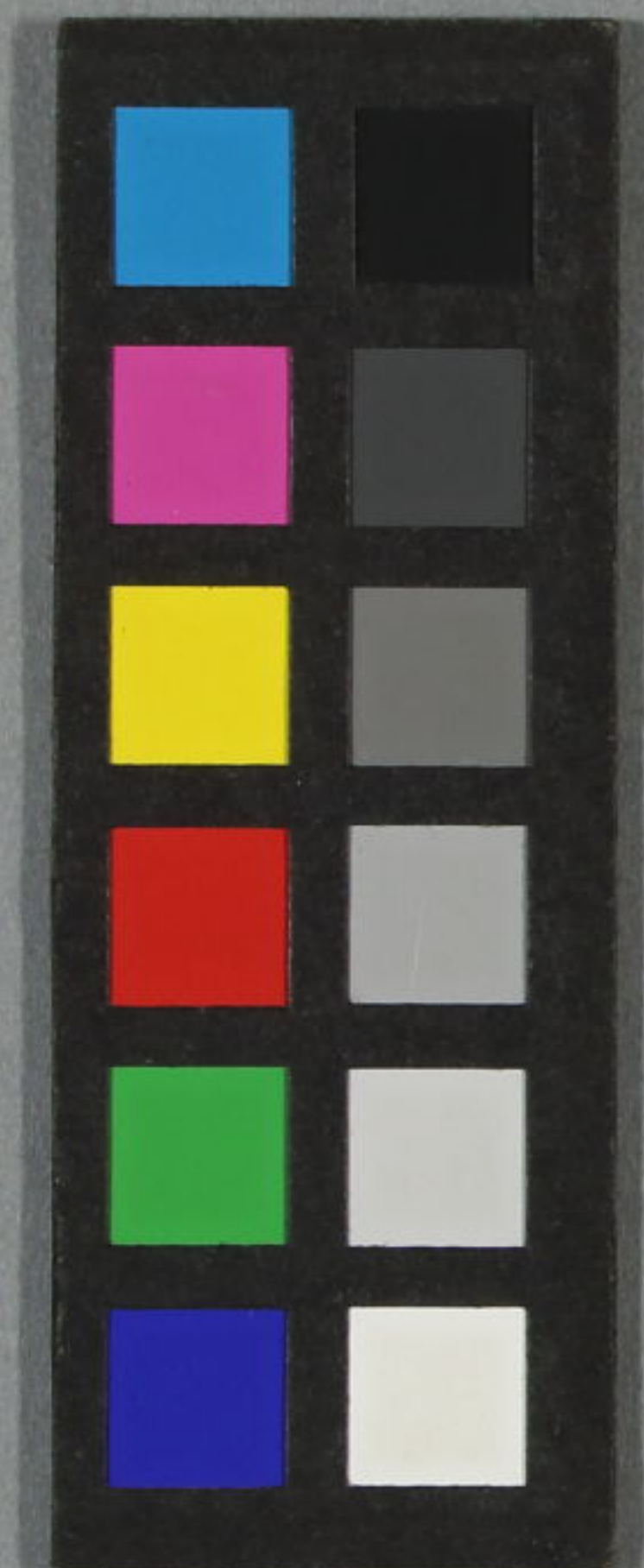
身馬月日八元五中以上右
細川清實の六条の親公の馬
白くしつる人太坂の馬城後
高崎の定為の馬と回馬の馬
身下中以上身馬月日八元
不中以上

牧忠美

十二月廿七日

美

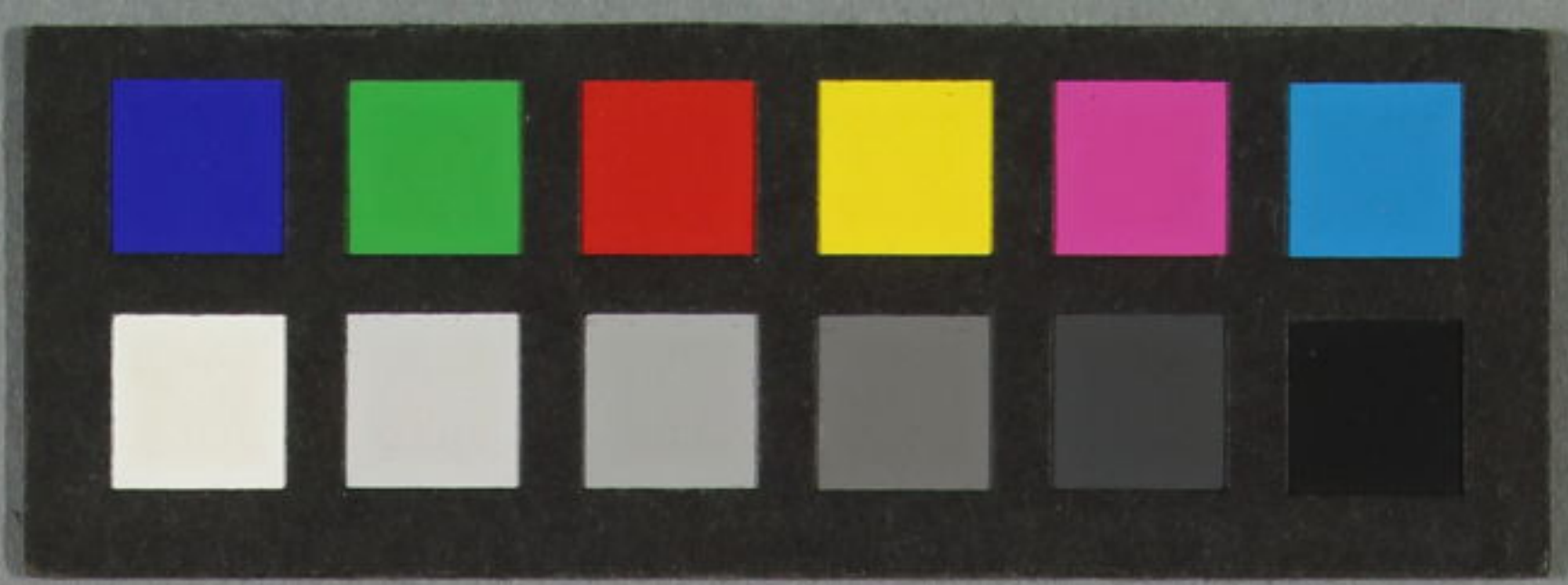
身馬月日八元五中以上



26

特	別
45	
15579	
26	





15
15571
26

三六
心為之

一保壽院様
台座院様

宗子

一在のて未長六身七ノ方ノ心
振舞ノ上ノ方ノ城ノ心
舞ノ心ノ心ノ心ノ心ノ心
未長六身七ノ方ノ心
下長六身七ノ方ノ心



90-420



Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written on aged paper. The text is arranged in several lines and is mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side.

26

特 別
45
15579
26